

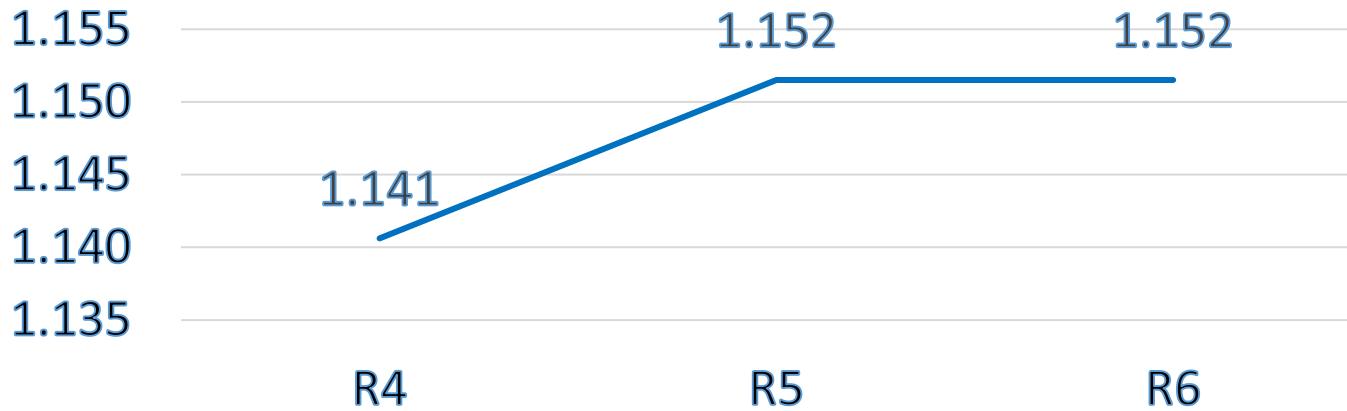
大阪市立上福島小学校

令和6年度全国学力学習調査結果より

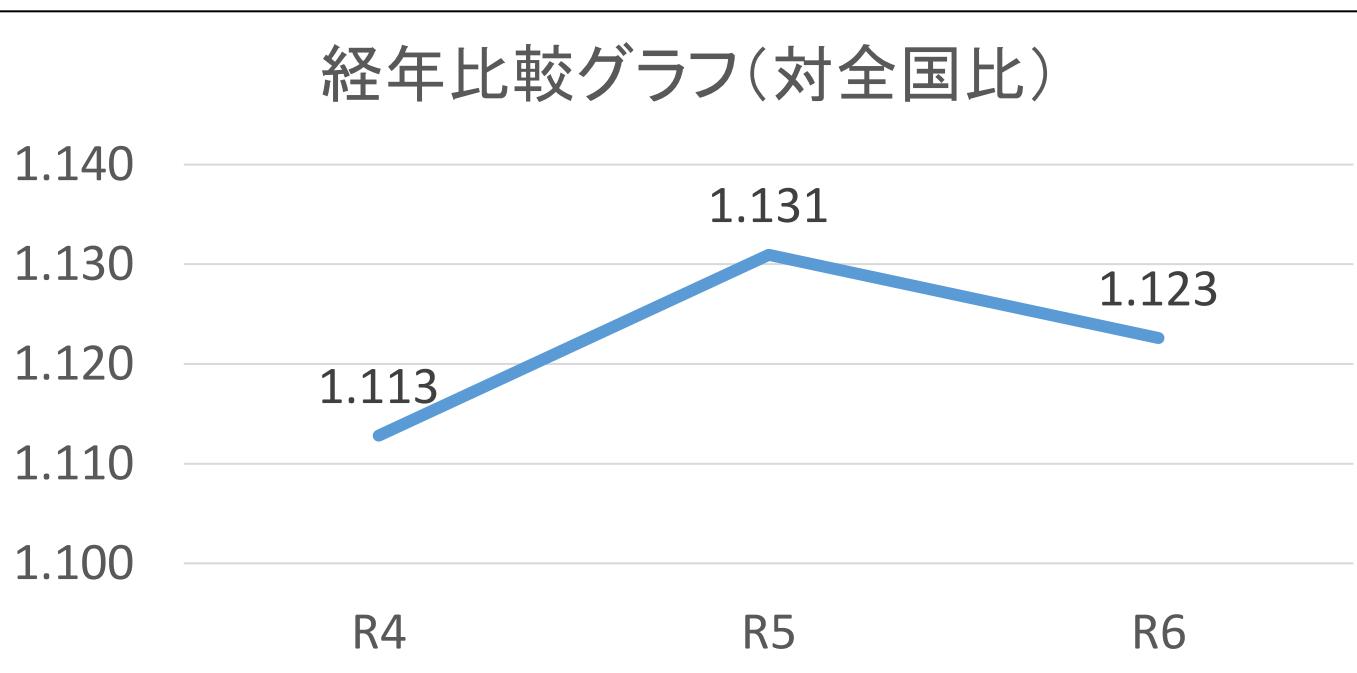
国語科の学力向上をめざして

	R4						R5						R6					
	正答率			対府比	対全国比	正答率			対府比	対全国比	正答率			対府比	対全国比			
	貴校	府	全国			貴校	府	全国			貴校	府	全国					
平均正答率	73	64	65.6	1.141	1.113	76	66	67.2	1.152	1.131	76	66	67.7	1.152	1.123			
学習指導要領の領域別平均正答率(%)	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	73.7	67.5	69.0	1.068	1.068	76.6	71.0	71.2	1.076	1.076	74.4	63.4	64.4	1.155	1.155		
	(2) 情報の扱い方に関する事項	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!	61.4	62.6	63.4	0.981	0.968	90.2	85.5	86.9	1.055	1.038		
	(3) 我が国の言語文化に関する事項	78.9	74.2	77.9	1.013	1.013	0.0	0.0	0.0	#DIV/0!	#DIV/0!	78.0	72.6	74.6	1.046	1.046		
	A 話すこと・聞くこと	78.9	64.4	48.5	1.225	1.192	89.5	70.9	70.9	1.262	1.233	72.4	57.3	59.8	1.264	1.211		
	B 書くこと	57.9	46.0	48.5	1.194	1.194	42.9	24.2	26.7	1.607	1.607	70.7	65.9	68.4	1.034	1.034		
	C 読むこと	76.3	65.9	66.6	1.158	1.146	82.9	69.2	71.2	1.198	1.164	80.5	69.0	70.7	1.167	1.139		
評価の観点別平均正答率(%)	知識・技能	74.6	68.6	70.5	1.058	1.058	72.2	68.6	68.9	1.048	1.048	77.6	68.6	69.8	1.112	1.112		
	思考・判断・表現	72.4	60.5	62.0	1.197	1.168	80.0	63.5	65.5	1.260	1.221	75.0	63.9	66.0	1.174	1.136		
問題形式別平均正答率(%)	選択式	78.9	70.4	71.8	1.099	1.099	81.9	72.5	73.6	1.113	1.113	78.0	68.0	69.9	1.116	1.116		
	短答式	71.9	61.7	63.6	1.165	1.131	64.3	63.0	62.7	1.021	1.026	75.6	58.7	59.7	1.288	1.266		
	記述式	59.6	49.4	51.3	1.165	1.162	66.7	48.4	51.1	1.305	1.305	67.1	62.3	64.6	1.039	1.039		

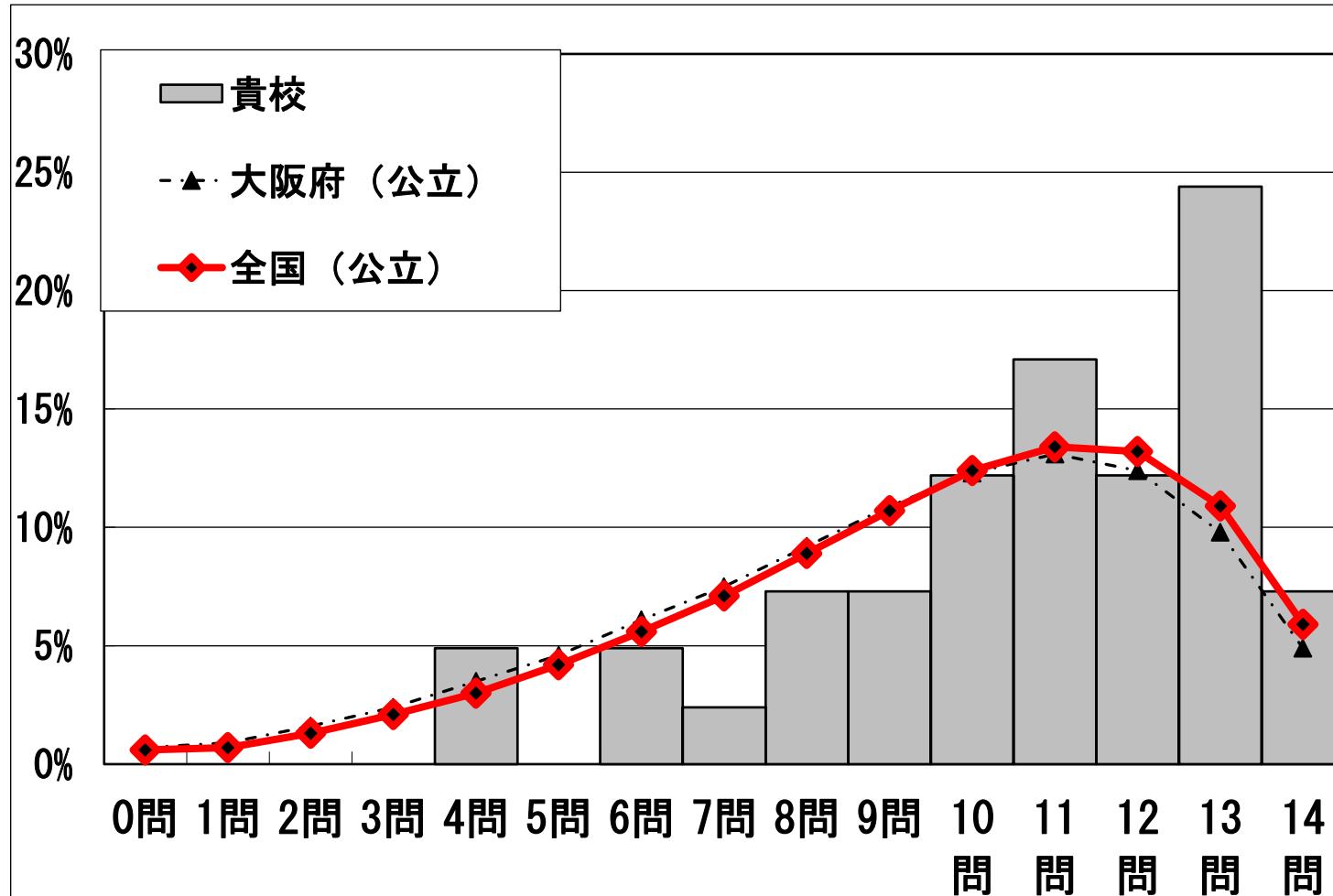
経年比較グラフ(対府比)



経年比較グラフ(対全国比)



	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
大阪市立上福島小学校	41	10.7 / 14	76	11.0	2.6
大阪府（公立）	64,339	9.2 / 14	66	10.0	3.1
全国（公立）	947,364	9.5 / 14	67.7	10.0	3.1



※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	貴校	大阪府 (公立)	全国 (公立)
△ 第3四分位	13.0問	12.0問	12.0問
◇ 第2四分位	11.0問	10.0問	10.0問
▽ 第1四分位	9.0問	7.0問	8.0問

調査結果概況 [国語]

● 貴校

▲ 大阪府(公立)

● 全国(公立)

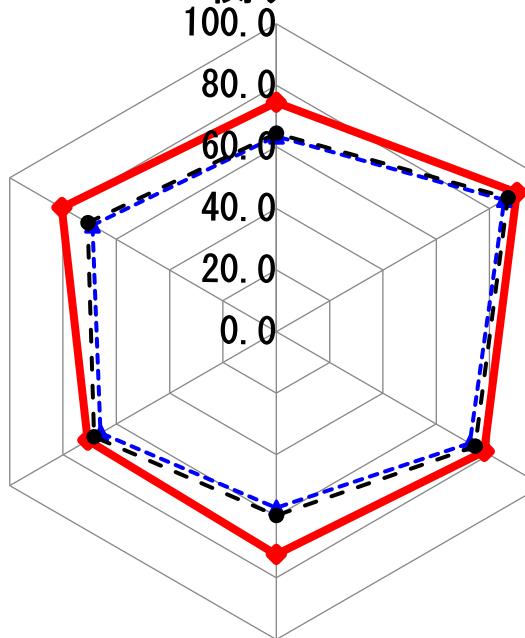
C 読むこと

B 書くこと

(1) 言葉の特徴や使い方に…

(2) 情報の扱い方に関する事項
(3) 我が国の言語文化に関する…

A 話すこと・聞くこと

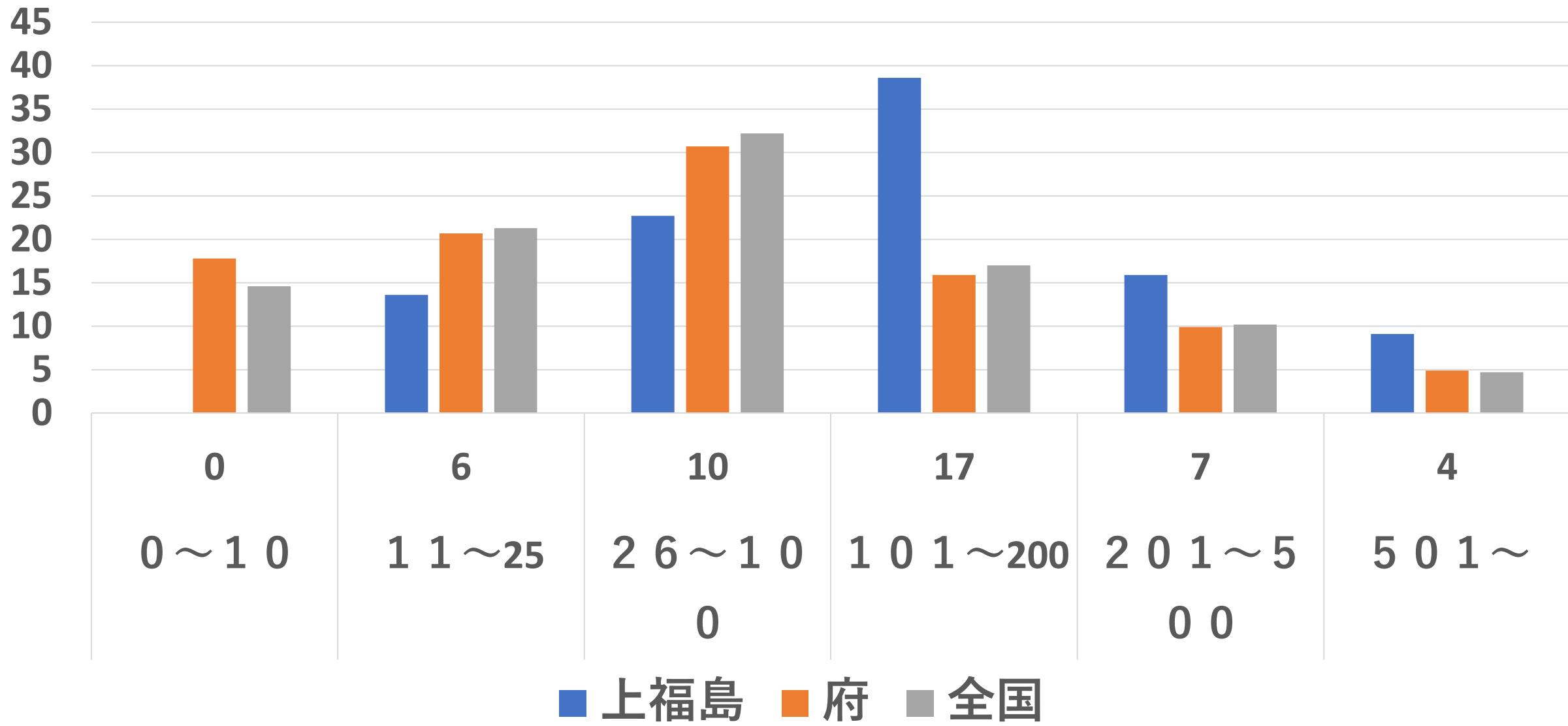


分類	区分	平均正答率(%)		
		貴校	大阪府(公立)	全国(公立)
全体			76	66 67.7
学習指導要領の内容	(1) 言葉の特徴や使い方に…	74.4	63.4	64.4
	(2) 情報の扱い方に関する事項	90.2	85.5	86.9
	(3) 我が国の言語文化に関する事項	78.0	72.6	74.6
思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	72.4	57.3	59.8
	B 書くこと	70.7	65.9	68.4
	C 読むこと	80.5	69.0	70.7
評価の観点	知識・技能	77.6	68.6	69.8
	思考・判断・表現	75.0	63.9	66.0
	主体的に学習に取り組む態度			
問題形式	選択式	78.0	68.0	69.9
	短答式	75.6	58.7	59.7
	記述式	67.1	62.3	64.6

1ー	学校の取り組みを紹介する内容を【和田さんのメモ】にどのように整理したのかについて説明したものとして、適切なものを選択する	目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができるかどうかを見る	73.2	59.9	62.5
1二 (1)	オンラインで交流する場面において、和田さんが話し方を変えた理由として適切なものを選択する	話し言葉と書き言葉との違いに気付くことができるかどうかを見る	75.6	74.0	75.9
1二 (2)	オンラインで交流する場面における和田さんの話し方の工夫として適切なものを選択する	資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかを見る	63.4	50.1	52.9
1三	オンラインで交流する場面において、【和田さんのメモ】がどのように役に立ったのかを説明したものとして、適切なものを選択する	目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかを見る	80.5	61.9	63.8
2ー (1)	高山さんが文章に書くことを決めるために、どのように考えたのかについて説明したものとして、適切なものを選択する	目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にできるかどうかを見る	90.2	78.1	80.3
2ー (2)	【高山さんのメモ】の書き表し方を説明したものとして、適切なものを選択する	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかを見る	90.2	85.5	86.9
2二	【高山さんの文章】の空欄に入る内容を、【高山さんの取材メモ】を基にして書く	目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかを見る	51.2	53.7	56.6
2三ア	【高山さんの文章】の下線部アを、漢字を使って書き直す(きょうぎ)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかを見る	63.4	41.4	43.4
2三イ	【高山さんの文章】の下線部イを、漢字を使って書き直す(なげる)		87.8	76.1	76.0
3ー	【物語】の一文の中の「かがやいています」の主語として適切なものを選択する	文の中における主語と述語との関係を捉えることができるかどうかを見る	70.7	61.9	62.3
3二 (1)	「オニグモじいさん」が「ハエの女の子」にどのように話すか迷っていると考えられるところとして、適切なものを選択する	登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができるかどうかを見る	82.9	65.4	66.9
3二 (2)	【話し合いの様子】で、原さんが【物語】の何に着目したのかについて説明したものとして、適切なものを選択する	人物像を具体的に想像することができるかどうかを見る	75.6	70.9	72.5
3三	【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書く	人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかどうかを見る	82.9	70.8	72.6
3四	【原さんの読書の記録】の空欄に入る内容として適切なものを選択する	日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができるかどうかを見る	78.0	72.6	74.6

児童質問紙より

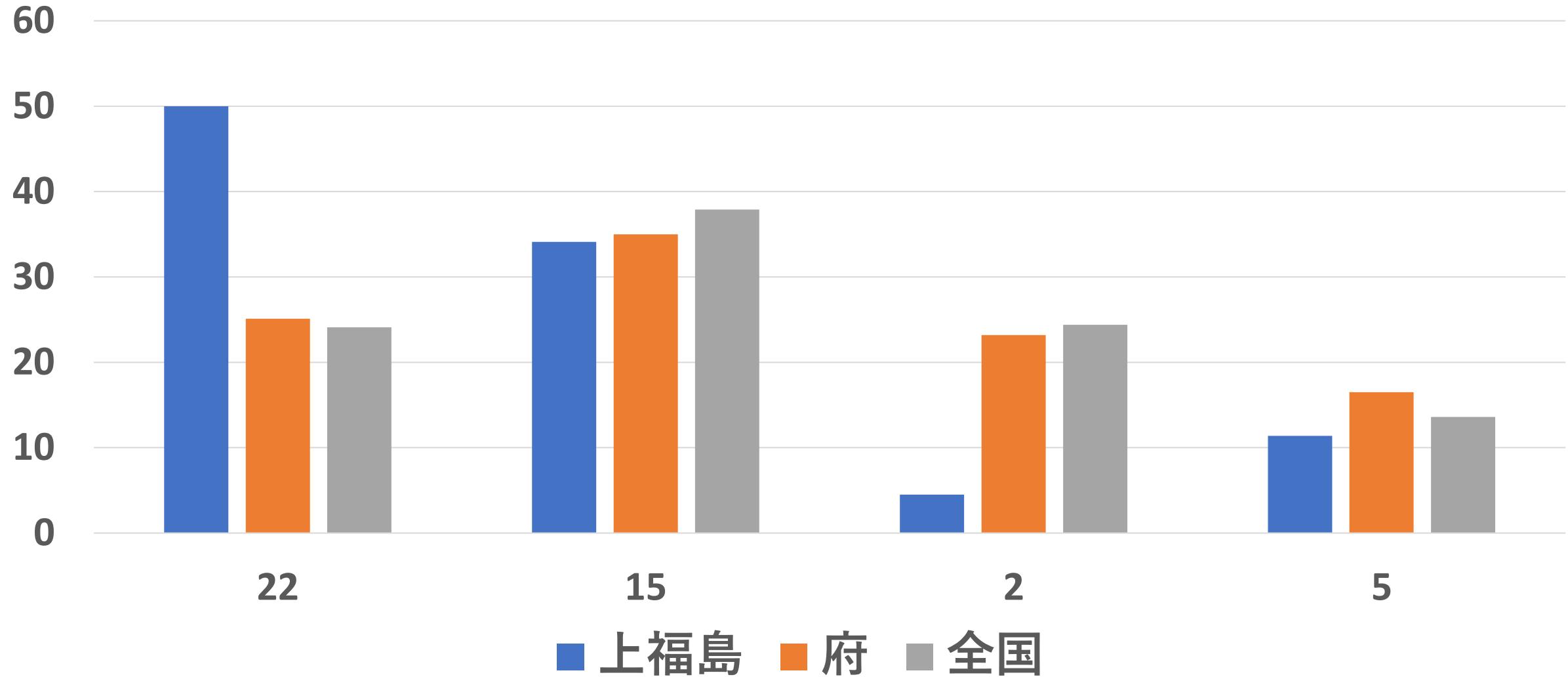
家にある本の数



児童質問紙より

84.1%

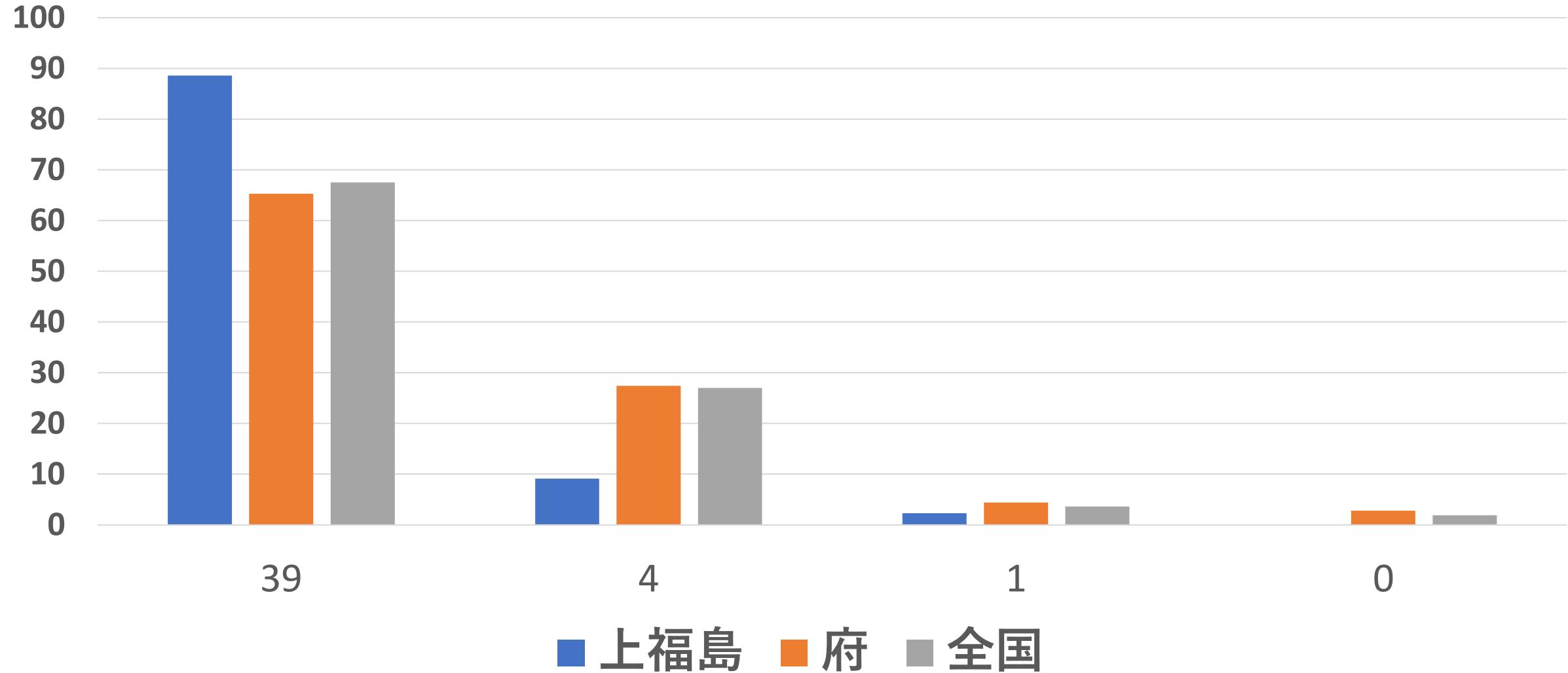
国語の勉強が好き



児童質問紙より

97.7%

国語の勉強は大切



国語の勉強がよくわかる

97.8%

80

70

60

50

40

30

20

10

0

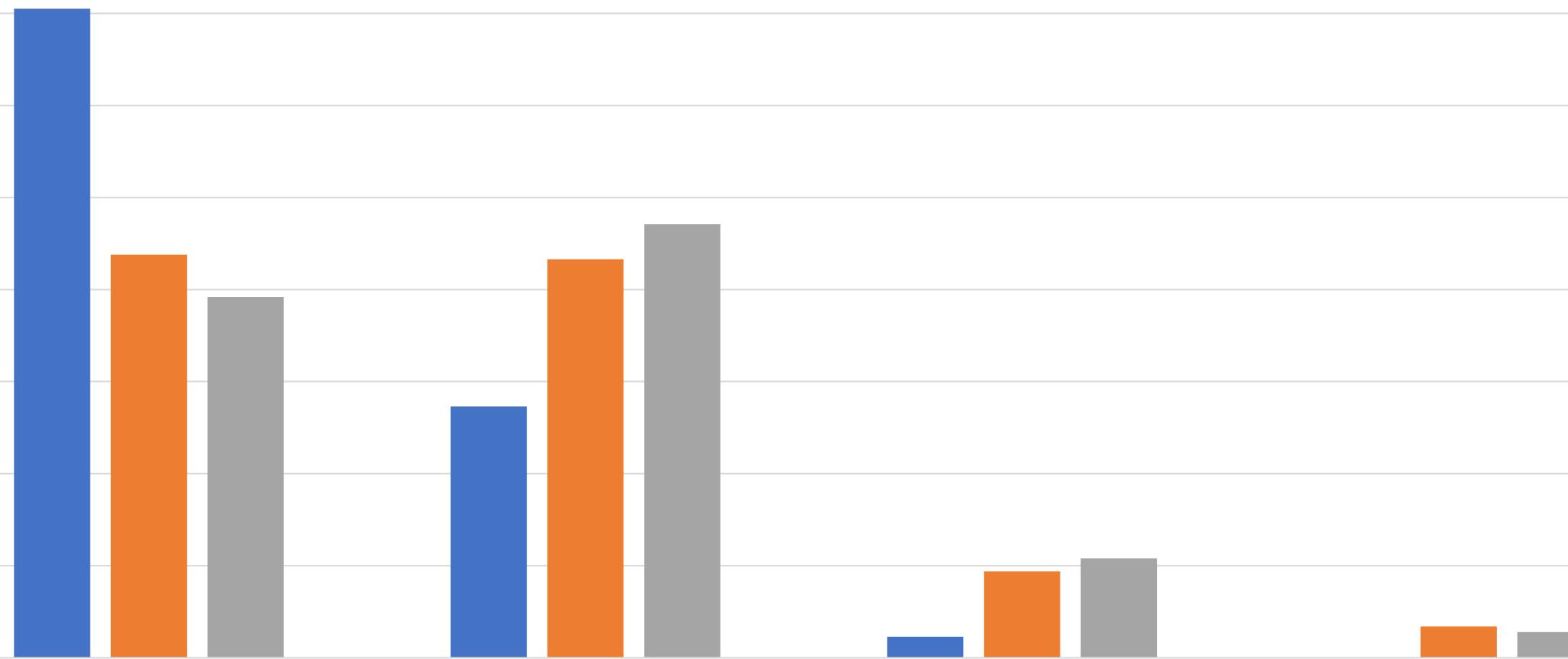
31

12

1

0

■ 上福島 ■ 府 ■ 全国



子どもたちの苦手な問題を分析してみましょ
う。

1 ニー(2) 上福島 63.4 全国 52.9

1 三 上福島 80.5 全国 63.8

- 二 和田さんは、【和田さんのメモ】を生かして、村木さんとオンラインで交流しました。次の【オンライン交流の様子の一部】に答えてましょう。
- 1 相手の学校の「地いきならではの取り組み」に関する情報を整理していたことで、事実と感想とを区別して伝えることができた。
 - 2 相手の学校の「地いきならではの取り組み」に関する情報を整理していったことで、複数の情報をまとめて伝えることができた。
 - 3 自分の学校の「地いきならではの取り組み」に関する情報を整理していったことで、複数の情報をまとめて伝えることができた。
 - 4 自分の学校の「地いきならではの取り組み」に関する情報を整理していったことで、複数の情報を整理していったことで、
- 三 和田さんは、「オンライン交流の様子の一部」をふり返り、発言⑯のところで、【和田さんのメモ】が役に立ったことに改めて気づきました。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。
- 1 相手が興味をもっていることに気づき、相手の言葉を引用して話した。
 - 2 相手が興味をもっていることに気づき、用意していた实物を示しながら話した。
 - 3 相手が興味をもっていないことに気づき、言葉の意味を説明しながら話した。
 - 4 相手が興味をもっていないことに気づき、自分の体験を加えて話した。

【オンライン交流の様子の一部】

深緑小学校 村木さん 海風小学校 和田さん

はじめまして。深緑小学校の村木です。今日は、とても楽しみにしていました。

はじめまして。海風小学校の和田です。よろしくお願いします。

本に興味をもってもらえるようになるのはいいですね。ぜひやってみます。

次に、私たちの学校の給食についてこうかいしたいのですが、いいですか。

お願いします。

アイデア給食というものがあります。年2回、自分たちが考えたこんだてが登場します。海に近く、魚がたくさんとられるので、魚料理などを考えます。みんなでアイデアを出し合ったこんだてが登場するので、アイデア給食と呼んでいます。

みんなで考えたこんだてが出るなんてうらやましいです。私の学校は、ランチルームがあり、全校のみんなで給食を食べます。

みんなで食べられるなんて、楽しそうですね。

はい。給食の時間が楽しみです。ところで、和田さんの学校は、海に近いということですが、他にも、海に近い学校ならではの取り組みはありますか。

えっと…（【和田さんのメモ】を見返す）、二つあります。総合的な学習の時間の取り組みと、砂浜の清掃活動です。

二つもあるんですね。ぜひ、一つ一つくわしく教えてください。

～（交流が続く）～

二 和田さんは、【和田さんのメモ】を生かして、村木さんとオンラインで交流しました。次の【オンライン交流の様子の一部】に答えてましょう。

指導に当たって

ニ-(2)

自分の考えを伝わるように表現を工夫する

- ① 相手や目的を意識させてください
- ② 資料を使って話す練習をしてください。
- ③ どの資料を用いるか考えさせてください
- ④ 資料を出す順番、話す順番を考えさせてください。

三 集めた材料を分類・関係づけて伝え合う内容を検討する

- ① 伝えたいこと、聞かれていることにおいて情報を整理する練習をしてください
- ② 聞き手が知りたいことを想定して、資料を準備させることができればグッド
- ③ 情報を知り、整理する練習をしてください。

解答の分析

無解答率4.9%

高山さん

正答例
〔正答率
56.7%〕

「お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった」という1年生や、「みんなが楽しそうでうれしかった」という4年生がいます。このように、「たてわり遊び」のよいところは、学年をこえた交流ができるところだと思います。

誤答例

たてわり遊びをしている下級生の1年生は「お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった」や、3年生は「好きな遊びや新しい友達が増えた」と答えてくれました。このように、みんなでたてわり遊びをしました。

○誤答例の解説

このように解答した児童の中には、「たてわり遊び」のよさを認識しているものの、そこから自分の考えをもつことができず、事実と感想、意見とを明確に区別せずに、事実を自分の考えのように書いてしまった児童がいたと考えられる。

【高山さんの文章】

みんな仲良し「たてわりはん」

わたしたちの学校には、1年生から6年生までのメンバーが、同じはんで活動する「たてわりはん」の取り組みがあります。「運動会」や「たてわり遊び」を通して、ちがう学年の人とも仲良くなります。

「運動会」は、「たてわりはん」ごとに赤、青、黄の色を決め、3色対こうで行います。上級生が下級生に応えんの仕方を教えたり、下級生も楽しめるように、アキラゲの作戦を考えたりします。「みんなでつな引きをして楽しい」という2年生や、「下級生といっしょに応えんして熱い気持ちになる」という5年生がいます。このように、「運動会」のよいところは、みんなの心が一つになるところだと思います。

「たてわり遊び」は、毎月1回、休み時間に「たてわりはん」で遊ぶ活動です。みんなが楽しめるように、6年生が、遊びたいことを下級生に聞いたり、ルールをくふうしたりします。例えば、ドッジボールでは、上級生が遠くからボールを投げるようにしています。

- ① 目的や意図に応じて伝えたいことを明確にする練習をしてください。
- ② 事実と自分の考えをしっかりと分けて書く練習が大切です。
- ③ 事実と自分の考えが混同していないか、気を付けるように指導してください。
- ④ 児童の書いた文章を友達と読みあうことは大切な活動です。
- ⑤ 主語や文末の表現に気を付けるよう指導してください。
- ⑥ 個別に指導していくことも大切です。

解答の分析

無解答率12.5%

正答例

正答率
72.7%

- ①「わしが食って生きているのは、朝日のひかりだよ」と言ったのが心に残った。理由は、素直なハエの女の子を見て、自分が食べているのはハエと言えず、朝日のひかりを食べていると言った温かさに感動したからだ。

②ぼくは、「まわりの林では、小鳥たちが朝の歌をうたいはじめました」という言葉が心に残りました。なぜなら、オニグモじいさんの心が少しうれしそうなことを表していると思ったからです。

正答例①のように解答した児童は、登場人物の行動や会話、様子などから、人物像や物語などの全体像を具体的に想像し、自分の考えを明らかにすることができたと考えられる。

正答例②のように解答した児童は、場面の移り変わりとともに変化していく登場人物の気持ちと合わせて、情景について具体的に想像することができたと考えられる。

誤答例

- ①わたしは、オニグモじいさんの「巣が、かぞえきれないほどの小さなおひさまでできるようだ」という言葉が心に残りました。

②朝自分の巣がどのように見えるかと外へ出る中で、ハ工の女の子がやってきて、自然のきびしさを教えようとした話。

○誤答例の解説

誤答例①のように解答した児童の中には、「心に残ったところ」はあるものの、「心に残った理由」を言語化できなかった児童がいたと考えられる。

誤答例②のように解答した児童の中には、物語の内容を書いたものの、それを「心に残ったところ」として書くことができなかった児童がいたと考えられる。

三 原さんは、鳥さんと話しかけたあと、「物語」を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて下さい。あなたなら、「物語」を読んだ後に残ったところとその理由をどのようにまとめますか。

指導に当たって

3 – (3)

話し合いの様子を踏まえ⇒物語の心に残った理由を⇒物語から言葉や文を取り上げてまとめなければならないので大変です。

- ① それぞれ心に残ったことを交流させることが大切
- ② 「人物像」「物語の全体像」「表現の効果」などの観点で読んだのかを自分自身で明確にできるように支援しましょう
- ③ 「なぜか」というと」「～からです。」など思考そのものにかかる語句を苦手な児童には例示しましょう。
- ④ 「～のところから」など根拠を表す語句も例示してみてください。